

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

C 定型・維持管理型

No.

1002004

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	し尿収集処理		所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課	
			(連絡先)	213-4960	
	ホームページアドレス http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html		(評価票作成者)	まち美化推進課長 鈴木隆志	

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性 縮小等による見直し	24予算額 (千円)	事務事業の内容	
461,238	470,237		418,232	水洗処理がされていない住居から排出されるし尿を収集し、前処理を行った上で、下水道に放流する。	
業務運営方法	☐ 直営	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 (委託先) 京和産業㈱, (有)大成浄美社, 大同興業㈱, (有)和田産業, (有)共栄産業, 日進浄化槽センター (株) (内容) 収集運搬			
	☒ 部分委託				
	☐ 部分補助等				
	☐ 全部委託				
	☐ 全部補助等				
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例, 同規則			事務事業の 性格	☒ 義務的事業 ☐ 任意的事業
				会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分		H20年度決算	H21年度決算	H 2 2 年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)		542,701	515,264	461,238	470,237	418,232
		役務費 (通信運搬費)		47,859	46,705	44,838	45,382	44,125
		補償補填及び賠償金						
		その他		32,687	27,865	23,648	32,705	28,473
	①'	委託料	収集運搬等	462,155	440,694	392,752	392,150	345,634
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)		85. 2%	85. 5%	85. 2%	83. 4%	82. 6%
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)		124,920	146,576	144,339	146,975	146,975
		職員 (課長級) (人)		0.63	0.61	0.81	0.81	0.81
		職員 (課長補佐級、係長級) (人)		1.56	1.74	2.14	2.14	2.14
		職員 (係員) (人)		11.52	12.91	12.10	12.10	12.10
		嘱託職員等人件費 (千円)		3,323	12,998	14,056	16,692	16,692
	④	年間経費 (①+③) (千円)		667,621	661,840	605,577	617,212	565,207
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)		98,479	108,892	107,344	101,742	113,155
		国庫・府支出金 (千円)						
受益者負担分 (使用料, 手数料等) (千円)		93,556	103,115	102,508	95,252	107,908		
その他 (環境事業協会負担金等) (千円)		4,923	5,777	4,836	6,490	5,247		
⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)		569,142	552,948	498,233	515,470	452,052	
⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)		14. 0%	15. 6%	16. 9%	15. 4%	19. 1%	

平成23年度
(平成22年度分)

Ⅱ 評価結果

事業名 し尿収集処理

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 効率性	No.	区 分	単位	H20年度	H21年度	H 2 2 年度	
	①	世帯数		世帯	7,515	6,614	5,934
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）		千円	667,621	661,840	605,577
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	88,838	100,067	102,052
	④	単位当たり経費変動率				+12.6%	+2.0%
				評価	かなり悪くなった	悪くなった	
分 析	（コスト変動の理由等）						
	平成 2 1 年度と比べ、平成 2 2 年度の活動実績が減少したため効率性が悪くなった。 経費削減を図ったものの、し尿収集対象世帯の減少に伴い、収集効率が低下し、一戸当たりの収集コストが上昇した。						
B 市民満足度	＜調査の有無＞		＜調査方法＞		＜調査時期＞		
	□ 有 □ 無 ■ 該当しない						
	（調査結果、現状分析等）						
C 環境保全 及び環境負荷軽減の要素	■ 環境	＜現状分析、今後の方針等＞					
	□ 関連	環境保全事業そのものであり、今後も継続していく。					
	□ 一般						

平成23年度の実施状況 水洗化されていない世帯のくみ取り便所から排出されるし尿を収集し、前処理を行ったうえで下水に放流している。（し尿収集対象世帯5,640世帯 平成23年度10月1日）

Ⅲ 今後の方向性

縮小等による
見直し

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)

下水道の整備にあわせて、し尿収集対象世帯が年々減少していくことにより、対象世帯の点在化、僻地化が徐々に進み、し尿収集業務の効率が更に低下するため、今後もし尿収集体制の縮小など、更なる効率化を図る。